

5. 両生類・爬虫類・哺乳類調査結果

5. 両生類・爬虫類・哺乳類調査

5.1 両生類・爬虫類・哺乳類調査結果の概要

(1) 分布状況からみた河川環境の特徴

今回とりまとめを行った 26 水系 31 河川で確認された両生類は 2 目 6 科 21 種、爬虫類は 2 目 8 科 15 種、哺乳類は 8 目 19 科 53 種でした。それぞれの確認種数が多かった河川は、両生類では東北地方の米代川で 12 種、爬虫類では中国地方の吉野川で 12 種、哺乳類では東北地方の阿武隈川で 22 種でした。

(2) 特定種一覧

今回とりまとめを行った 31 河川で確認された特定種は、両生類が 1 種、爬虫類が 2 種、哺乳類が 4 種でした。国の特別天然記念物に指定されているカモシカが東北地方の米代川、北陸地方の手取川で確認されました。

確認種数はどの河川も比較的少なく、北海道地方の天塩川と四国地方の吉野川が 2 種で、今回とりまとめを行った 31 河川のうちの 19 河川では、何らかの特定種が確認されました。

(注) 特定種について

本資料においては、次の文献のいずれかに該当する種や亜種を特定種としました。

- 「文化財保護法」の特別天然記念物および天然記念物
- 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種および緊急指定種
- 環境省(庁)編「日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—」掲載種 (2000: 両生類・爬虫類、2002: 哺乳類)

(3) 外来種一覧

今回とりまとめを行った 31 河川で確認された外来種は、両生類が 1 種、爬虫類は 1 種、哺乳類が 7 種でした。外来種の確認河川数が多かった種は、両生類ではウシガエルの 23 河川、爬虫類ではミシシippiaカミミガメの 20 河川、哺乳類ではハツカネズミの 15 河川でした。また、外来種が全く確認されなかった河川は、東北地方の米代川、中国地方の小瀬川で、今回とりまとめを行った 29 河川では、何らかの外来種が確認されました。

(注) 外来種の選定基準について

本資料における外来種とは、おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物全てを指し、侵入以後に国内に定着した種であるか否かの判断は、困難な種があるため選定の際に考慮していません。また、外来種の選定には、資料 I.6 (26~27 ページ) および 28 ページに掲載した文献と学識者による意見を参考に行っています。